

令和8年度 渚第4工区陸上部詳細設計業務委託 特記仕様書

1. 業務目的

本業務の対象である渚地区は、「熱海サンビーチ」に隣接し、熱海駅～熱海港の動線上に位置しているため、海岸防災機能を確保しながら、海浜と地域の特性を十分に活かし、観光客及び地域住民が海と親しみ、憩える場の創出を目的に、親水護岸と緑地の整備を推進しており、熱海港CR（コースタル・リゾート）計画の滞在型リゾート基地として位置付け、平成3年度から静岡県と本市の連携により、全長約630mの海岸整備を進めている。

本市は、北イタリアのサンレモ市と姉妹都市であることや地形と街並みが似ていることから「東洋のナポリ」と呼ばれており、沿岸地域を地中海風のデザインで整備する方針である。

全体を4つの工区に分け、各工区を地中海北部のリゾート地のイメージで整備予定であり、「地中海風が香る賑わいのあるウォーターフロント」をデザインコンセプトとして、修景していく計画である。

渚第1～第3工区までは整備済みであり、第4工区の埋立護岸、テラスの部の擁壁、階段、スロープといった基盤部分については、現在、県が整備中であるため、本設計では陸上部の修景に関わる設計を行うものである。

各工区のイメージ

第1工区	第2工区	第3工区	第4工区
南欧・コートダジュール	北イタリア・サンレモ・リヴィエラ海岸	南イタリア・ナポリ	ギリシャ・エゲ海

2. 業務位置



3. 業務内容

(1) 設計計画

業務概要、実施方針、業務工程、業務体制、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成し、設計方針の確認を行う。

(2) 既往資料の収集及び現地踏査

第4工区の計画設計内容の確認、その必要資料の収集、最新の関係法令の確認、現地踏査を行い、設計上の課題を整理する。

(3) 修景設計の検討

設計に当っては、第4工区の整備イメージである「ギリシャ・エーゲ海」や、過年度の「熱海港湾エリア賑わい創出整備懇話会」で各委員から挙げられた意見等を踏まえて検討を行う。また、既に整備されている第1工区～第3工区との調和に配慮した検討を行う。

1) テラス部及び階段部の設計

① 舗装設計

整備イメージに適合する舗装諸元を検討する。舗装諸元は、景観性、耐久性等について検討し、決定する。

② 転落防止柵、手すりの設計

テラス部の転落防止柵については、色彩、形状、材質について第4工区の整備イメージに調和したものとする。また、階段部に設置する手すりの設置個所、色彩、形状、材質についても全体整備イメージに調和したものを選定する。

2) スロープ部の設計

決定されているスロープの基本諸元（幅員、勾配等）を前提とし、テラス部と同様に舗装、転落防止柵、スロープ部の舗装の検討を行う。

(4) 陸上部詳細設計

「熱海港湾エリア賑わい創出整備懇話会」で同意を得ている第4工区のイメージを基に、陸上部の詳細設計を行う。

1) 与条件の確認及び照査

過年度の設計や特記仕様書あるいは監督員から提示された計画内容・背景等を十分に把握し、与条件の照合・確認をし、設計に反映するとともに、各作業の照査を行う。

ア 与条件や過年度の設計等の把握と整理

イ 各種設計条件や設計基準の確認

2) 実施設計の検討及び照査

- ア 懇話会の整合性確認
- イ 意匠性・芸術性・独自性に関する検討と設定
- ウ 安全性・機能性に関する検討と設定
- エ 施工性・市場性に関する検討と設定
- オ 維持管理性に関する検討と設定

※建築確認申請が必要となる建築物の設計は本業務の対象外とするが、建築物の面積や位置等の検討は含む。

(5) 実施設計図面の作成

上記検討に基づき、工事実施に必要な設計図面を作成する。

(6) 数量計算

実施設計図面に基づき、工事数量を算出する。

(7) 概算工事費の算出

設計数量に基づき、概算工事費を算出する。

(8) 工事仕様書(案)の作成

検討結果を基に、工事仕様書（案）を作成する。

(9) 関係機関協議資料作成

「第4回熱海港湾エリア賑わい創出整備懇話会（R8.8末開催予定）」の会議資料として、第4工区に隣接する熱海和田川水門や、和田浜地区津波防護施設の計画を配慮した暫定供用範囲のイメージパース（多視点の画像）を作成する。

(10) 打合せ協議

着手時1回、中間1回、業務完了時に行う。

(11) 報告書

報告書作成を行う（報告書2部、電子データCD2枚）

(12) 照査

業務に関する照査を実施する。